

小児科臨床研修プログラム

【指導医】

- 金井 理恵（母性小児診療部長）：島根医科大学医学博士（2000年）/日本がん治療認定医機構暫定教育医・がん治療認定医 /日本リウマチ学会 専門医 /日本血液学会血液専門医 /日本専門医機構小児科専門医・指導医 /小児慢性疾患指定医・難病指定医 / 緩和ケア研修会修了/臨床研修指導医
- 東本 和紀（小児科部長）：日本小児科学会小児科専門医・指導医 /日本小児神経学会小児神経専門医/日本てんかん学会てんかん専門医/小児慢性疾患指定医・難病指定医 / 臨床研修指導医 / 緩和ケア研修会修了
- 山田 健治（小児科医長）：島根大学医学博士（2016年）/日本小児科学会小児科専門医・指導医 /小児慢性疾患指定医・難病指定医/臨床研修指導医/緩和ケア研修会修了
- 阿部 恭大（小児科医長）：日本小児科学会小児科専門医・指導医/小児慢性疾患指定医・難病指定医/臨床研修指導医/緩和ケア研修会修了
- 岡村 理香子（小児科医長）：日本小児科学会小児科専門医 /小児慢性疾患 指定医・難病指定医 / 臨床研修指導医/緩和ケア研修会修了

【上級医】

- 藤田 祐介（小児科医員）：緩和ケア研修会修了
- 大塚 友絵（小児科医員）：緩和ケア研修会修了

【期間】：4週間

【一般目標 GIO】

小児領域における common disease や救急疾患の初期対応を行い、専門科との連携を行うために小児および小児疾患の特性を理解し、基本的診療能力を修得する。

【行動目標 SBOs】

1. 小児の病態生理を理解する。
2. 小児領域における common disease や救急疾患を列举できる。
3. 小児の身体所見を評価できる。
4. 新生児、乳児の全身状態の評価法を理解する。
5. 小児に対する検査、治療の侵襲性について理解する。
6. 救急診療において専門科の医師に適切なコンサルトができる。
7. 救急診療において入院適応が判断できる。
8. 入院症例の病歴聴取、診察、検査計画に参加する。
9. 入院症例の治療計画を立案し、指導医・上級医と議論する。
10. 患児、保護者、メディカルスタッフとのコミュニケーション能力を身につける。

【方略】

1. 入院症例について、チーム主治医の一人として診療に参加する。
2. 保護者への対応、病歴聴取法、病状説明について学び、実践する。
3. カンファレンス・回診で、担当症例について問題抽出し、提示する。
4. 救急外来診療に参加し、病歴聴取、診察処置、病状説明を行う。
5. 分娩、新生児検診、1 か月健診に参加し、新生児、乳児の全身状態の評価法を理解する。
6. エビデンスの収集方法について学び、担当症例に関する文献や最新の知見についての理解を深める。研修期間中に 1 度は抄読会で演者を担当する。

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
8:30～	朝カンファレンス	朝カンファレンス	朝カンファレンス	朝カンファレンス	朝カンファレンス、抄読会(8:00～)
9:00～	病棟/外来診療	病棟診療	病棟/外来診療	病棟/外来診療 療神経外来	病棟/外来診療
9:30～		病棟回診			
午後	予防接種外来		乳児検診・外来		

- ・平日日勤帯：分娩立会い、救急外来、新生児検診については指導医・上級医からの連絡時に見学・参加する。
- ・土曜日・日曜日の時間外業務なし

【評価】病院全体の評価方法に準じる。

○ 評価（E V）

1. 研修医による自己評価

PG-EPOC に経験した「症候を呈する患者」、「疾病・病態を有する患者」の記録を行い、PG-EPOCを用いて自己評価を行う。

2. 指導医による評価

病棟、外来診療において、診断的技能、治療的技能、態度について、PG-EPOC(可能ならばMini-CEX)を用いて研修医の評価を行う。

診療録、退院サマリー、レポートをもとに知識、情報収集能力について、研修医の評価を行う。

PG-EPOCや研修記録を用いて研修医の評価を行う。

3. 看護師（指導者）による評価

評価票もしくはPG-EPOCを用いて研修医の評価を行う。指導医の要請に応じてMini-CEXを用いて評価する。

評価票を用いて指導医の評価を行う。

4. 研修医による診療科、指導医、指導者に対する評価

PG-EPOC を用いて診療科全体（指導内容、研修環境）を評価する。

PG-EPOC を用いて指導医を評価する。

評価票を用いて指導者を評価する。

1) 形成的評価

小児科研修期間中に1回以上、小児科の指導責任者から形成的評価を受ける。

360 度評価として指導者から他職種評価を受ける。

2) 総括評価

指導医がそばにいないとしても、必要時には連絡が取れる状況下であれば、診療現場で、一人で診療しても対応可能なレベルまで診療能力を高めることが研修修了の要件である。

小児科の指導責任者は研修の実施記録表をもとに総括評価を行う。研修修了判定に係わる研修管理委員会で修了判定ができるようプログラム責任者から指示された期日を遵守する。